

# 新幹線開業に向けたアクションプラン

---

平成31年3月

長崎県



# はじめに

---

2022年度に予定される九州新幹線西九州ルート(武雄温泉―長崎間)の開業が近づいてまいりました。

博多―長崎間は最速で、現行より約28分短縮の約1時間20分で結ばれることとなります。観光客やビジネス客の増加といった交流人口の拡大などにより、西九州地域の活性化が図られるものと期待されており、新幹線開業効果を最大限に高め、その効果を県内各地へ波及・拡大し、持続的に発揮させていくため、このたび官民一体となって取り組む「新幹線開業に向けたアクションプラン」を策定いたしました。

このアクションプランでは、①県民の気運醸成、②誘客促進、③県内各地への周遊促進、④来訪者の満足度向上、⑤産業の振興の5つの方向性に沿って、県民への積極的な情報発信や二次交通の充実・強化、観光列車の導入等による在来線や地域鉄道沿線の活性化など、幅広い分野にわたる項目に取り組むこととしています。

取組を進めるにあたっては、進捗管理や内容の具体化、詳細な役割分担の決定等のため、交通事業者、経済界、関係団体、行政等、関係の方々からなる推進体制を構築し、官民一体となってアクションプランを推進してまいりたいと考えております。

なお、開業当初は武雄温泉駅での対面乗換方式による暫定開業となり、策定時点において、残る新鳥栖―武雄温泉間の整備方針は決定されていないところであります。県としては、一刻も早く開業効果を高めるためにも、投資効果・収支改善効果・時間短縮効果が最も高い、フル規格による整備方針を早期に決定していただきたいと考えております。

アクションプランの内容については、今後の状況の変化に対応していくため、必要に応じて見直していくこととしており、整備方針等の検討状況を見極めながら、関係の方々との協議を継続してまいりたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

策定にあたり、貴重なご意見、ご協力を賜りました「新幹線開業に向けたアクションプラン策定会議」の皆様をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げます。

— 目次 —

1. 県民みんなで2022年度開業を盛り上げよう！ . . . 1
2. たくさんの人に長崎県に来てもらおう！ . . . . 6
3. 便利に周遊してもらおう！ . . . . . 11
4. 楽しい時間を過ごしてもらおう！ . . . . . 16
5. ビジネスの拡大につなげよう！ . . . . . 19

# 1 県民みんなで2022年度開業を盛り上げよう！

九州新幹線西九州ルート（武雄温泉―長崎間）の開業まであと3年あまりとなりました。

先に新幹線が開業した地域をみると、行政、民間事業者、県民の方々が一体となって、開業に向けて盛り上げていくことが、開業効果を高める最も重要なポイントとなっています。

しかしながら、本県においては、先に開業した地域よりも時間短縮効果が小さいこと、武雄温泉駅での対面乗換方式で暫定開業すること、そして何よりも2022年度開業後の西九州ルート全体の姿が示されていないことなどから、県民の方々の新幹線開業に対する関心・期待が高まっているとはいええない状況です。

新幹線開業を待つだけでは、ただ「新幹線が来ただけ」になってしまいます。新幹線開業を本県の地域活性化のきっかけとするためには、県民一人ひとりが当事者意識を持って、積極的に行動を起こすことが必要です。

そのため、西九州ルートに対するイメージを高めることによって、新幹線開業が長崎県の明るい未来につながるものであると県民の方々に捉えていただき、全县をあげて開業に向けて前向きに取り組んでいく気運を高めていきます。

## 体系図

### (1) 県民への積極的な情報発信

- ①西九州ルートのイメージアップを図るPRコンテンツの作成
- ②多様なツールを効果的に活用した開業PR

### (2) 開業に向けた県民の気運醸成

- ①県民参加意識の醸成
- ②県内における開業関連イベントの開催

## (1) 県民への積極的な情報発信

新幹線開業について、県民の方々に関心を持っていただくため、まずは、日常活動圏が拡大し、県内から関西・中国・福岡方面に行きやすくなることや通勤・通学エリアが拡大すること、観光客の増加が期待できることなど、西九州ルートの開業によるメリットをしっかりと伝えるとともに、親しみのある開業PRコンテンツを作成します。

そして、様々なツールを使って西九州ルートの開業に関する情報等をわかりやすく発信することにより、西九州ルートに対して前向きなイメージを作り出していきます。

### 1 西九州ルートのイメージアップを図るPRコンテンツの作成

#### 1) 暫定開業のメリットを示したパンフレット等の作成

- 現在作成しているパンフレット等について、今後示される開業情報（開業日や工事進捗等の開業スケジュール、車両デザイン、運行本数等）やまちづくりの状況に応じて、随時内容を見直していきます。
- パンフレット等の作成にあたっては、県民の理解促進につながるよう、分かりやすい表現等を工夫し、開業に向けた期待感を高めていきます。

#### 2) 親しみやすい開業PR キャッチコピーやロゴマークの作成

- 県民の気運を高めるため、親しみやすい開業PR キャッチコピーやロゴマークを作成します。
- 作成にあたっては、大学生との連携や一般公募、人気投票やお披露目イベントなどの方法により、県民が一体となって参加できるよう工夫を凝らします。
- 作成したコンテンツについては、パンフレット、ホームページ、イベントなどの広報ツールなどに活用していくとともに、企業の印刷物やお土産品のパッケージにも活用していきます。

#### 3) 話題性やインパクトのある開業PR 動画の作成

- 作成したキャラクターの活用や県民参加などの手法により、幅広い層に興味を持ってもらえる動画を作成します。
- SNS 等も活用しながら、情報が拡散されるよう、工夫を凝らした情報発信を行います。

#### <主な役割分担>

- 行政 : キャッチコピー等の作成、パンフレット等への活用、動画の作成
- 民間事業者 : キャッチコピー等の印刷物やお土産品パッケージへの活用

## 2 多様なツールを効果的に活用した開業 PR

### 1)開業 PR 専用 web サイトやソーシャルメディアの活用

- 県民が参加できるように、ソーシャルメディアと連携した開業専用 web サイトを作成します。
- 幅広い層に理解が得られるよう、小学生でも理解できる分かりやすい特設ページも作成します。
- 新幹線の情報だけでなく、JR 在来線、島原鉄道、松浦鉄道、長崎電気軌道の魅力や開業を機にまちづくりに取り組む団体についても併せて紹介します。

### 2)自治体の広報誌や経済団体の会報誌等の活用

- 現在、県や沿線市、経済団体の一部等で実施している広報誌や会報誌を活用した開業 PR について、今後示される開業情報（工事の進捗、開業スケジュール、車両デザイン、開業年月日、運行本数等）やまちづくりの状況に応じて、随時内容を見直すとともに、更なる拡大を図ります。
- 開業 PR コンテンツについては、統一したイメージを発信するため、県作成のキャッチコピーやロゴマーク等を使用するよう、協議を進めていきます。

### 3)民間企業のネットワークを活用した情報発信

- 包括連携協定締結企業（金融機関、コンビニ等）によるポスター掲示等の情報発信について、更なる発信の場の拡大に取り組みます。
- 懸垂幕やのぼりの設置を更に拡大するとともに、開業日を意識付けするためのカウントダウンボードを各地に設置します。
- 多くの県民の目に触れるバス等への開業 PR ステッカーの掲示やラッピングを促進します。

### 4)県内の地域イベントやお祭り等とタイアップした開業 PR の実施

- 現在、県や沿線市において既存イベント（産業まつり等）への参加により実施している開業 PR について、沿線市以外での開催など更なる拡大を図ります。

### 5)新幹線のイラストやキャラクター等の商品パッケージへの活用

- 新幹線のイラストやキャラクターの商品（お土産品、飲料等）パッケージへの活用を進めます。

#### <主な役割分担>

- 行政 : web サイト・のぼり・カウントダウンボード等の作成、広報誌等での PR
- 経済団体 : 会報誌等を活用した PR、のぼり・カウントダウンボードの設置協力
- 民間事業者 : ポスター掲示、新幹線イラストの商品パッケージ等への活用
- 交通事業者 : 開業 PR ステッカー等の掲示

## (2) 開業に向けた県民の気運醸成

県民の方々の参加意識を高めるため、建設途中の段階から新幹線開業をより身近なものとして実感できる機会をつくとともに、多くの県民の方々が参加できる開業関連イベント等を継続的に開催し、開業に向けて県民一丸となって盛り上げていきます。

### 1 県民参加意識の醸成

#### 1)新幹線開業フォーラム等の開催

- 開業に向けて参加意識を高めるため、誰でも参加できる新幹線開業フォーラム等を開催します。
- 県・市が連携しながら、まずは沿線市において開催し、その後も沿線市以外での開催も促進します。

#### 2)現場見学会や出前講座等の実施

- 開業直前には、開業が間近に迫っていることを実感してもらうため、整備が終了した高架橋におけるレールウォークや車両基地の見学会、車両撮影会、試乗会イベントを開催します。
- 開業が実感できるよう、開業前しか実施できない一般県民向け現場見学会を各地で開催します。既に実施済みの長崎市だけでなく、諫早市、大村市も含め、開業に向けて開催回数を増加させます。
- 見学会等の実施にあたっては、幅広い年齢層が興味を抱くよう工夫するとともに、マスメディアにも公開することにより、参加者以外へも開業をPRします。
- 小中高校生をはじめとする多様な世代に向けて、直接働きかけるため、県・市が連携しながら開業出前教室等の開催を強化します。

#### 3)県民参加による企画イベントの実施

- こども達の新幹線に対する期待感を高めるため、新幹線をテーマにした絵画コンテストを拡大（諫早市は継続実施中）するとともに、絵画の掲出やイベントとの連携等により、保護者を含めたより多くの方々の気運を高めます。
- 開業を盛り上げるため、大学生等と連携した企画イベント（旅行プランコンテスト、周遊マップや動画の作成等）の実施を検討するなど、企画段階から県民の参画を図ります。

##### <主な役割分担>

- 行政 : 新幹線開業フォーラム等の開催、現場見学会、出前講座の開催、絵画コンテストの実施
- JR九州 : レールウォークや試乗会イベントの開催



## 2 県内における開業関連イベントの開催

### 1)開業までの気運を高めるイベントの開催

- 開業前の節目（在来線開業（2020年春）、500日前、1年前、100日前等）において、県・市・関係団体等が連携し、趣向を凝らしたカウントダウンイベント等を開催します。
- 今後予定されている周年行事等に合わせ、開業をPRする取組を検討します。
- イベントの開催にあたっては、その効果を高めるため、西九州ルート沿線である佐賀県や福岡県との連携を図ります。
- 佐賀県との連携については、沿線5市（長崎市、諫早市、大村市、武雄市、嬉野市）とも連携しながら、県・市一体となって、西九州ルート全体の魅力を発信します。

### 2)開業記念イベント

- 開業日当日を盛り上げるため、各地で開業記念イベントを開催します。開業に当たっては、県・市・JR・関係団体等で構成する実行委員会等を立ち上げ、準備を進めていきます。
- 開業後の盛り上がりを継続するため、開業日以降の節目イベント（開業後100日イベント、開業後1年イベント）を開催します。

### 3)新幹線と関連するイベントの開催

- 上下分離される長崎本線（諫早－肥前山口間）の新体制による開業を盛り上げるため、佐賀県とも連携しながら、開業イベント（「(仮称) Re:born 長崎本線」）を実施します。
- 西九州ルートの開業により運行されなくなる長崎発特急列車のラストランイベント「(仮称) ありがとう“かもめ”イベント」を開催します。

#### <主な役割分担>

行政・JR九州・経済団体：開業イベントの開催（共催）

※詳細の役割分担については今後協議。

## 2 たくさんの人に長崎県に来てもらおう！

交流人口の拡大は、新幹線開業によって最も期待される効果とされており、先に開業したほとんどの地域において、開業前と比べて観光客数が増加しています。特に、平成27年3月の北陸新幹線（長野—金沢間）開業後、首都圏や東北方面からの観光客が増えた石川県では、観光客数が前年比1.3倍となっています。

一方、西九州ルートにおいては、当面、対面乗換方式による運行となることから、新幹線開業による観光客の増加に向けた工夫した対策が重要となります。

このため、本県が有する豊かな自然や歴史・文化に裏付けられた観光資源や平成30年に世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」などを最大限に活かしながら、地域の魅力づくりに戦略的に取り組む必要があります。

また、西九州ルートを利用して長崎県に来たいとさせていただくための工夫や、開業前後に集中的な県外プロモーションを実施し、観光客の増加につなげていきます。

### 体系図

#### (1) 長崎県への来訪意欲を高める仕掛けづくり

- ①観光列車の導入等による在来線や地域鉄道沿線の活性化
- ②西九州ルートの利用を促す仕掛けづくり

#### (2) 開業を見据えた県外プロモーションの実施

- ①効果的な集中キャンペーンの展開
- ②多様なネットワークや媒体を活用した開業PR

## (1) 長崎県への来訪意欲を高める仕掛けづくり

県内では、長崎本線、大村線、佐世保線の JR 線と島原鉄道、松浦鉄道といった特徴ある鉄道が運行していることから、鉄道を観光資源として活用し、近年注目されている観光列車の運行実現に向けた取組等を通じて、沿線地域の魅力を高めていきます。

また、西九州ルートの特徴を踏まえ、工夫を凝らした取組を進めることによって、西九州ルートそのものの利用を促していきます。

### 1 観光列車の導入等による在来線や地域鉄道沿線の活性化

#### 1) 観光列車の導入等に向けた取組

- 島原鉄道においては、既存列車を活用した「カフェトレイン」（飲食店と連携したランチ、スイーツ等の提供）の内容充実に取り組んでいるところであり、最終的には本格的な観光列車の導入を目指していることから、県・沿線市等が連携し、実現に向けた支援を行ないます。
- 松浦鉄道においては、ビール列車の運行や高等学校等との協働企画など、地域と連携した企画列車の更なる充実を図ります。
- JR 沿線においては、既存観光列車の運行により沿線地域の気運を高めつつ、新たな観光列車の誘致を目指します。
- 沿線地域の特産品や工芸品（陶器等）を活用した特製弁当の開発を進めます。
- 観光列車の導入に当たっては、地域の特徴を活かした素材や伝統的工芸品などを車両内装や乗務員制服に活用します。

#### 2) 沿線住民等と連携した沿線の魅力向上と発信

- 現在、一部で実施している地元住民等による駅や沿線の美化活動（清掃・植栽など）について、実施地域や規模の拡大を図ります。
- 駅舎の空きスペースについて、民間資本等も活用しながら、カフェや物販施設などの交流拠点としての活用を進めます。
- 沿線住民自ら駅周辺のお薦めスポットや沿線の魅力について発信できるよう、新幹線専用 web ページと連携するなど SNS 等のプラットフォームを構築します。

##### <主な役割分担>

- |       |   |
|-------|---|
| 行政    | ： 既存観光列車の充実に向けた支援、新たな観光列車の誘致、<br>駅舎の空きスペースの活用、沿線の魅力発信 |
| 交通事業者 | ： 既存観光列車の充実、駅や沿線の美化活動の推進、<br>新たな観光列車の導入、駅舎の空きスペースの活用  |
| 民間事業者 | ： 駅舎の空きスペースを活用した交流拠点整備                                |

## 2 西九州ルートの利用を促す仕掛けづくり

### 1)西九州ルートならではの仕掛けづくり

- 関西から2回の乗り換えが必要であることから、旅行会社等に対して、「片道新幹線・片道航空機」利用の関西圏発旅行商品など工夫を凝らした商品造成を働きかけます。
- 新幹線の乗車時間が短い（約30分）ことから、魅力的な車両（新幹線、リレー特急）の導入等、乗ること自体が目的となるような西九州ルートを目指します。
- 武雄温泉駅における乗換の心理的負担を軽減するため、著名人や方言などによる乗換アナウンスなどの演出を検討します。

### 2)鉄道や鉄道駅の周辺を活用した地域の魅力づくり

- 新幹線撮影スポットや車両基地など、鉄道愛好家の視点を活かした新たな観光資源づくりに取り組むとともに、撮影スポット（例：県庁展望フロアなど）の情報を集約し、ホームページ等で発信します。
- 駅周辺の古民家や歴史ある建物、空き家等を活用し、観光客を呼び込む拠点（飲食、物販、宿泊施設等）として活用する民間事業者の取組を支援します。

### 3)開業にあわせたイベントの開催

- 新幹線による来県意欲を高めるため、県内各地で開催されている既存イベントや地域のまつりについて、開業時期（直後など）に合わせて実施できるよう、関係機関と調整を図ります。
- 開業にあわせた全国規模の大会やイベントの開催など、県外からの誘客に向けて相乗効果が得られるよう検討を進めます。

### 4)新しいまちづくりと連動した誘客

- 開業に合わせて新幹線駅周辺の整備が進められていることから、それを活かした地域の活性化を進めるとともに、長崎駅周辺におけるMICE施設の整備、新スタジアム構想等の新たなまちづくりを見据え、関係機関と連携して県外からの誘客を図り、開業効果の持続化を図ります。

#### <主な役割分担>

- 民間事業者：工夫をこらした旅行商品の造成、観光客を呼び込む拠点整備
- JR九州：魅力的な車両の導入、駅周辺開発
- 行政：民間事業者への支援、コンベンションの誘致、関係者間の調整

## (2) 開業を見据えた県外プロモーションの実施

本県への誘客を強化するためには、西九州ルートの情報（開業時期、停車駅、ルート等）や長崎県の魅力などについて、県外における認知度を向上させる必要があることから、JR や他県と連携して、開業前後に話題性のある集中的なプロモーションを実施します。

また、長崎県にゆかりがある方をはじめとした人的ネットワークや様々な媒体を活用しながら、効果的な情報発信を行います。

### 1 効果的な集中キャンペーンの展開

#### 1) JR 等と連携したキャンペーンの開催

- 開業と合わせて、JR 各社や包括連携協定を締結した交通事業者等と連携した広域的なキャンペーンを実施するなど、新幹線と鉄道を活かして、国内外からの誘客を図ります。
- 誘客のターゲットエリアと考えられる主要エリア（博多、広島、新大阪）において、スポット的な PR を実施します。

#### 2) 多様な県外プロモーションの実施

- 他県における既存大型イベントやアンテナショップを活用するなど、多様な県外プロモーションを実施します。
- プロモーションにあたっては、西九州ルートの佐賀県、福岡県と連携し、三県合同による開催についても検討を進めます。

### 2 多様なネットワークや媒体を活用した開業 PR

#### 1) 長崎県ゆかりのネットワークを活かした PR

- 長崎県にゆかりがある著名人の発信力を活かした PR や県人会など県外在住者ネットワークを活かした PR など、多様なネットワークを活用して、県外向けに情報を発信します。

#### 2) 県民一人ひとりのネットワークを活かした PR

- 新幹線を利用して来県してもらう趣旨を掲載した開業 PR 年賀はがきの作成・販売やロゴマーク等の無料ダウンロードなどにより、県民一人ひとりのネットワークを活用して、広く全国に開業を PR します。
- 新幹線のロゴマーク入りの名刺やバッジ等のグッズを作成して営業活動に使用してもらうなど、企業のネットワークを活用した PR の実施について働きかけていきます。
- ソーシャルメディアの活用を促進するなど、県民一人ひとりの情報発信力を活かした取組を進めます。

### 3)多様な媒体を活用したPR

- テレビ番組やCM、雑誌、新聞等によるPRを全国に向けて開業前後に集中的に実施します。
- 包括連携協定締結企業等と連携して、県外店舗でのポスター掲示や開業キャッチコピーを使用した商品の販売等について、協議を進めていきます。

#### <主な役割分担>

- 行政 : 各種プロモーションの実施、他県との協議
- JR九州 : JR各社と連携した広域的なキャンペーンの開催
- 経済団体 : 開業PR年賀はがきの作成・販売（ダウンロード形式も検討）、  
開業PR名刺の活用促進
- 民間事業者 : 開業PR名刺の活用、ポスターの掲示（県外）

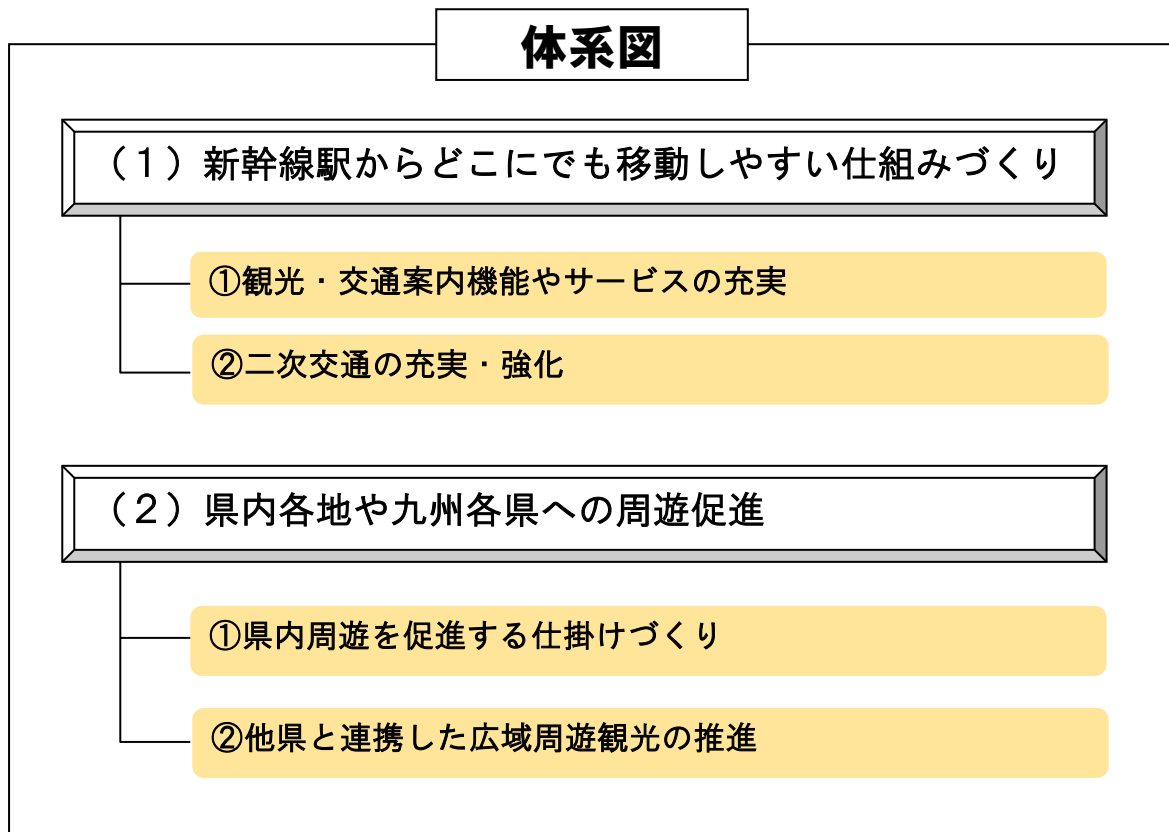
### 3 便利に周遊してもらおう！

新幹線の開業により観光客の増加が見込まれていますが、その効果を県内に広く波及させるためには、新幹線を利用して長崎県に来た方々に、さらに県内各地を周遊していただくことが必要となります。

このため、長崎県の陸の玄関口となる3つの新幹線駅において、観光案内機能を充実させるとともに、公共交通機関の利用案内を分かりやすいものに工夫して、来訪者が目的地へストレスなく移動できるようにするなど、県内各地への周遊拠点としての機能を高めていきます。

また、本県は多くの離島、半島地域を有しており、周遊が難しい側面もあることから、新幹線駅と県内主要観光地等を結ぶ都市間交通やレンタカーをはじめとする多様な移動手段を用意するなど、二次交通の充実や周遊を促す仕組みを構築します。

さらに、隣県である佐賀県や熊本県をはじめとする九州各県との連携を深め、相乗効果による魅力向上を図り、県境を越えた周遊を促進します。



## (1) 新幹線駅からどこにでも移動しやすい仕組みづくり

新幹線駅が県内各地への周遊拠点となるよう、駅舎等における観光案内機能や来訪者の利便性向上につながるサービスの充実を図ります。

また、来訪者が目的地へストレスなく移動できるように、公共交通機関の利用案内を分かりやすいものに工夫するとともに、新幹線駅と県内主要観光地間を結ぶ二次交通の充実・強化に取り組みます。

### 1 観光・交通案内機能やサービスの充実

#### 1) 駅等における総合案内所の充実

- 新幹線駅において、周辺地域のパンフレットの設置等（例：諫早駅での島原半島の情報提供）による広域案内機能や外国語対応の充実を図るなど、広域周遊拠点となる総合案内所を目指します。
- 広域案内機能については、長崎県・佐賀県両県の情報も相互で入手できるようにするなど、佐賀県とも連携して充実を図ります。
- 観光情報の提供のみならず、公共交通機関による行き方案内、交通チケット販売などカウンターサービスの充実を図ります。
- 観光客の移動に係る負担を軽減するため、案内所等における手ぶら観光を推進し、回遊性を高めます。

#### 2) 分かりやすい公共交通機関の利用案内

- 新幹線駅の交通機能の変化に併せて、来訪者が駅からバス乗り場等へ迷わず行ける案内表示板などの設置を促進します。
- 来訪者の目線に立って、公共交通機関を安心して利用できるよう、鉄道駅や電車の停留所へのナンバリングやバスの系統番号の見直し、表示の改善等、主要観光地への円滑なアクセスの実現に取り組みます。
- 新幹線開業に伴う交通体系の変化に合わせて、観光パンフレット等における交通アクセスルートを分かりやすい表現に改善します。

##### <主な役割分担>

- |       |   |
|-------|---|
| 行政    | ：観光案内所の機能充実、広域パンフレットの作成、手ぶら観光の推進、分かりやすい案内表示板の設置 |
| 経済団体  | ：佐賀県と連携した広域パンフレットの作成                            |
| 交通事業者 | ：鉄道駅等へのナンバリングの導入、分かりやすい行先表示                     |



## 2 二次交通の充実・強化

### 1) 都市間ネットワークの充実

- 二次交通基礎調査（課題整理、事業者・利用者アンケート等）結果に基づき、新たな都市間交通網の構築に取り組むため、まずは実証運行等を実施します。
- 実証運行による利用状況や課題等を検証し、新たな交通モードの導入を含め、実証運行から本格運行への移行を目指します。
- 新幹線のダイヤ編成を踏まえ、交通事業者と協議し、他の公共交通機関へのスムーズな乗換が可能となるダイヤ編成となるよう取り組みます。

### 2) 域内交通ネットワークの利便性向上

- 来訪者がストレスなく移動できるよう、主な公共交通機関において、全国相互利用が可能な交通系 IC カードが利用できるシステムの導入を推進します。
- スマートフォンアプリ等による出発地から目的地までの移動手段の検索・予約・決済や情報を一元化して提供する新たなサービスの展開を注視し、活用を検討します。
- まちなかエリアにおける定期観光バスや主要観光地を結ぶ周遊バスの充実を促進するとともに、近年ニーズが高まっている定額制観光タクシーなど観光客が利用しやすいプランの充実を図ります。
- 駅周辺の整備に合わせ、新幹線駅から他の公共交通機関への乗り継ぎ利便性の向上に取り組みます。
- 観光バスや観光タクシーにおける添乗員やドライバーのガイド機能の充実を図ります。

#### <主な役割分担>

- 行政 : IC カードの導入支援、二次交通改善に向けた基礎調査の実施、  
実証運行計画の策定、本格運行に向けた事業者への支援
- 交通事業者 : IC カードの導入、実証運行及び本格運行への移行、  
定期観光バスや観光タクシーの充実

## (2) 県内各地や九州各県への周遊促進

新幹線で訪れた観光客に離島を含めた県内各地へ足を運んでいただけるよう、楽しみながらスムーズに移動できる仕掛けづくりに取り組みます。

また、西九州ルートでつながる佐賀県、海を挟んで鹿児島ルートとつながる熊本県等と連携して、県域を越えた周遊を促します。

### 1 県内周遊を促進する仕掛けづくり

#### 1) 周遊企画きっぷ等の導入

- 複数の公共交通機関を利用して県内又は域内エリアを周遊できるフリーきっぷの導入を目指します。
- 世界遺産をはじめとする歴史や文化、自然や食など多様な魅力を持つ離島への周遊を促すため、新幹線の駅から離島までのアクセスに一体感を持たせる「新幹線」と「航路、航空路」をセットにしたお得な「レール&クルーズ」や「レール&フライ」商品等の造成を促進します。

#### 2) 周遊を促す仕掛けづくり

- スタンプラリーなど、鉄道をはじめとする公共交通機関を利用して楽しみながら県内を周遊できるイベントを実施します。
- JR 佐世保線については、関係者での協議を進め、西九州ルートの開業に向けて、高速化など利便性の向上に取り組みます。また、JR 佐世保線や松浦鉄道を活用した県北地域への周遊促進について検討を進めます。
- 時間を有効に活用できる広域観光タクシーの拡大等、観光客の多様なニーズに対応した周遊促進策を推進します。
- レンタカー乗り捨て制度を活かした周遊プランの作成や PR の強化など、レンタカーの活用を図り、公共交通機関でのアクセスが難しい地域への周遊を促進します。

## 2 他県と連携した広域周遊観光の推進

### 1) 佐賀県と連携した広域周遊観光の推進

- 日本遺産「日本磁器のふるさと肥前」や JR 佐世保線、松浦鉄道など、佐賀県と共通のテーマを活かして周遊を促進します。
- 嬉野温泉駅（仮称）を起点に、お茶や陶磁器など共通テーマを有する東彼地域や県北地域などへの周遊を促進するため、広域観光パンフレットやスタンプラリー、レンタカーの活用などについて検討を進めていきます。
- 新幹線と長崎本線を組み合わせたきっぷや旅行商品、長崎本線での企画列車の運行等、有明海沿岸の景色や食などを活かして、JR 長崎本線を使って周遊する仕掛けづくりに取り組みます。

### 2) 熊本県と連携した広域周遊観光の推進

- 島原鉄道や半島航路を活用し、有明海を挟んだ天草地域も含めた熊本県との周遊促進に取り組みます。
- 熊本県との連携にあたっては、島原鉄道や熊本県の交通事業者との協議も行い、官民一体となって推進します。
- 国等が進めるインバウンド対策と連携し、阿蘇くじゅう国立公園、雲仙天草国立公園、西海国立公園など複数の国立公園を軸にした周遊を促進します。

#### <主な役割分担>

行政 : フリーきっぷの導入支援、スタンプラリーの実施、他県との連携推進  
交通事業者 : フリーきっぷの導入、長崎本線における企画列車の運行  
民間事業者 : 離島周遊を促す旅行商品の造成（レール&クルーズ等）

## 4 楽しい時間を過ごしてもらおう！

新幹線の開業効果を持続させていくためには、たくさんの方々に「長崎県のファン＝リピーター」になっていただくことが重要になります。

新幹線で本県を訪れた方々に滞在期間中楽しく過ごしてもらい、「また来たい」と思っただくためには、県民一人ひとりが徹底したおもてなしを行うことが最も重要となります。

また、観光の大きな楽しみの一つである「食」についても、魚や農産物、伝統的な名物料理など本県が誇れる美味しい食がたくさんありますが、その魅力が来訪者に十分伝わっているとはいえないことから、本当に美味しいながさきの食を楽しんでいただく機会を増やすことも大切です。

新幹線開業を機に、外国人観光客を含めた全ての来訪者が本県で快適に過ごせるよう、滞在環境の充実を図り、来訪者の満足度を高めていきます。

### 体系図

#### (1) 新幹線で訪れた方々への徹底したおもてなし

- ①心をこめたおもてなしの実践
- ②「ながさきの食」を楽しむ機会の充実

#### (2) 滞在環境の充実

- ①安心して快適に滞在できる環境づくり
- ②外国人観光客向けサービスの充実

## (1) 新幹線で訪れた方々への徹底したおもてなし

新幹線で訪れた方々に本県での滞在を楽しんでいただけるよう、県民一人ひとりが心をこめたおもてなしを実践するとともに、本当に美味しい「ながさきの食」の魅力を来訪者に伝え、味わっていただく機会の充実を図ります。

### 1 心をこめたおもてなしの実践

- 新幹線や観光列車の到着時に、季節や各地のイベントにあわせた駅における出迎えイベントを充実させます。
- 開業にあわせて、児童・生徒などが描いたイラストや歓迎メッセージ等を駅に掲示します。
- 鉄道沿線において、観光列車に対する地元住民による手（旗）振り運動等のおもてなしを推進します。

### 2 「ながさきの食」を楽しむ機会の充実

- 「ながさきの食」を観光客やビジネス客の方々に気軽に味わってもらうための環境づくりに取り組みます。
- 新幹線駅周辺で、特産品や県産食材を活用した「ながさきの食」を楽しめるイベントを開催します。
- パンフレットやHPなどに地元の美味しい料理を食べることができる飲食店の情報を一元化して掲載します。

#### <主な役割分担>

- 行政 : イラストや歓迎メッセージの作成、  
経済団体や民間事業者の取組への支援
- 交通事業者 : 観光列車等におけるおもてなしの実施、  
イラストや歓迎メッセージの設置
- 経済団体 : 「ながさきの食」を楽しむ場の設置検討
- 民間事業者 : 新規出店へ向けた取組

## (2) 滞在環境の充実

来訪者の方々が本県での滞りに満足していただけるよう、来訪者の視点に立って滞在環境の充実を図っていきます。また、外国人観光客の方々が本県に訪れたくなるよう、滞在時における利便性を高めていきます。

### 1 安心して快適に滞在できる環境づくり

- クレジットカード、電子マネーなど多様な決済方法の導入により、キャッシュレス化を促進します。
- Free Wi-Fi について、まちなかエリアにおける広域的な導入や主要施設（観光地、宿泊施設、駅等）における利用エリアの拡大に取り組みます。
- 新幹線駅周辺エリアなどにおいて、どこでも貸出・返却可能なレンタサイクルの導入について、検討を進めます。

### 2 外国人観光客向けサービスの充実

- 案内看板やバス・鉄道車両の行先案内等の多言語表記・ピクトグラム（絵文字）、多言語によるアナウンス等を充実させるとともに、外国人向け指さしマップの充実や翻訳アプリの普及についても更なる拡大を図ります。
- 個人観光客の県内周遊やまち歩きに役立つ多言語マップ等の充実を図るとともに、外国語対応店舗の情報のパンフレットやHPへの掲載を促進します。

#### <主な役割分担>

- 民間事業者：Wi-Fi 環境の整備、多言語化の推進
- 交通事業者：クレジットカード等の多様な決済方法の導入促進、多言語化の推進、指さしマップの充実や翻訳アプリの普及拡大検討
- 行政：事業者等への各種支援

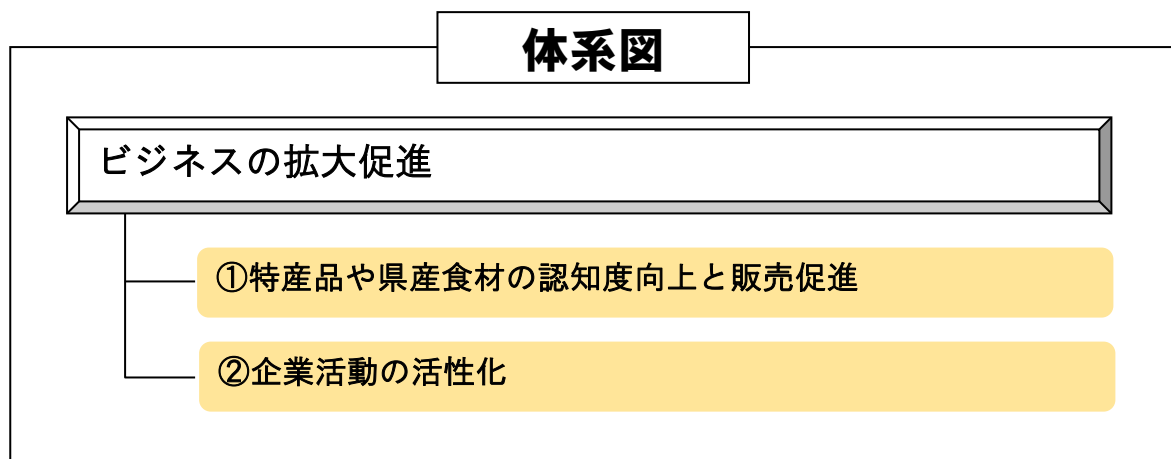
## 5 ビジネスの拡大につなげよう！

新幹線開業に伴い、交流人口が拡大すると、様々なビジネスチャンスが生まれる可能性があります。また、本県での滞在可能時間も1時間程度長くなると見込まれており、観光客をはじめとする来訪者の方々の消費が拡大することも期待されています。

先に開業した地域では、開業を機に新たなお土産品の開発や、企業間交流を活発にした結果、売り上げが大幅に伸びたという事業者の例もあります。

これらのチャンスを逃がさないようにするためには、県内事業者が新幹線開業を前向きに捉え、商品開発や新たなサービスの提供などビジネスの拡大に向けて意欲的に行動することが重要となります。

こうした県内事業者の前向きな取組を後押しするとともに、開業を機に高まる本県の認知度を活かして特産品の販売を促進し、本県の経済活性化につなげていきます。



## ビジネスの拡大促進

新幹線開業によって来訪者数が増えるということは、長崎県の特産品を買っていただくチャンスが増えるということでもあります。このチャンスを逃さないよう、開業に向けて新商品の開発や特産品等のPRを強化し、販売促進につなげていきます。

また、交流拡大によるビジネスチャンスを確実に捉え、新たなサービスの提供などに意欲的に取り組む事業者を支援するとともに、企業間交流を活発にして取引の拡大を図り、本県の経済活性化につなげます。

### 1 特産品や県産食材の認知度向上と販売促進

- 新幹線開業を見据えて、農商工連携による新商品の開発を進めます。
- 来訪者が購入しやすいよう、特産品の取扱店舗（場所、営業時間など）の情報のHP等への掲載を促進します。
- 背景にある歴史やエピソード等も紹介するなど、特産品に関して工夫を凝らした効果的なPRに取り組みます。
- 新幹線開業にあわせて、駅前等で特産品や県産食材のPRイベントを集中的に実施します。
- 県産食材を使った食の提供や特産品の紹介等を行う県産食材のPR拠点の設置について、関係者間で協議を進めます。
- 新幹線開業による知名度向上を活かし、アンテナショップや県外フェアなどにおける特産品の販売を強化します。

### 2 企業活動の活性化

- 新幹線開業を活かしたビジネスプランコンテストの実施など、開業をきっかけとしたサービス業等の分野における創業・起業意欲の誘発を図ります。
- 県外発注企業と県内受注企業とのマッチング商談会等の開催を拡大し、ビジネス交流機会の創出に取り組みます。
- 学会等コンベンションの誘致によって、ビジネスマン、技術者、研究者と県内企業との交流を促進します。
- 新幹線による九州北部地域の一体的な経済発展を図るための検討を進めます。

#### <主な役割分担>

- 行政 : 新商品開発への支援、情報発信、県内外におけるPRイベントの実施
- 経済団体 : 新商品開発への支援、県産食材PR拠点の整備促進、創業・起業支援、マッチング商談会の開催
- 民間事業者 : 新商品開発、情報発信、工夫をこらした新商品PR
- 金融機関 : ビジネスプランコンテストの実施、創業・起業支援



※持続可能な開発目標（SDGs）に向けた取組

2015年に国連サミットにおいて採択されたSDGsは、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済、社会及び環境をめぐる広範な課題に対して統合的に取り組むこととしています。

本プランによる取組は、国際社会共通の目標であるSDGsの推進にも資するものです。

